

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	34	※18年4月1日から区画整理課に組織改正	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	一之江駅西部土地区画整理事業			
所属名	土木部 区画整理第二課 推進係	電話番号	3 6 5 2 - 1 1 5 1 (代表)	

事業の目的及び概要

江戸川区中央部の地域中心核として、秩序ある発展を実現させるため、総合的な都市基盤の整備を進め、災害に強いまちづくりを行う必要があります。
 移転の事務及びそれに伴う宅地造成、街路整備工事を進めています。また、移転及び工事説明会や相談会、住まいづくりのワークショップ等を行い、区画整理事業への理解の促進を図っています。

事業の開始年度 平成5年度

現在の課題

- 過小宅地の解消：70㎡未満の敷地が多く、建て詰まり感があったが、区画整理事業を契機にまちづくり宅地資金貸付制度の活用、土地の集約により建物の共同化を図りながら宅地拡大をしてきました。
- 事業への理解：全体説明会、駅周辺近隣商業地の協議会等の組織づくり、ルールづくり及び違法駐輪解消に向けた運動等を行い、区画整理事業への理解や、より良い住環境を実現させていきます。

事業の対象者と動向

区民全体 対象年齢あり ()
 対象条件 (区画整理事業範囲内の物件)

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
96棟	55棟	75棟	93棟	48棟	→ 事業計画通り

備考：

活動指標

	活動指標名	活動指標の説明
①	道路整備延長 (5m以上) 全7,380m	権利者の理解と協力のもと事業推進の大きな要素となります。
②	公園・広場整備面積 全11,800㎡	土地活用が図られまちの形成推進に繋がります。

活動実績

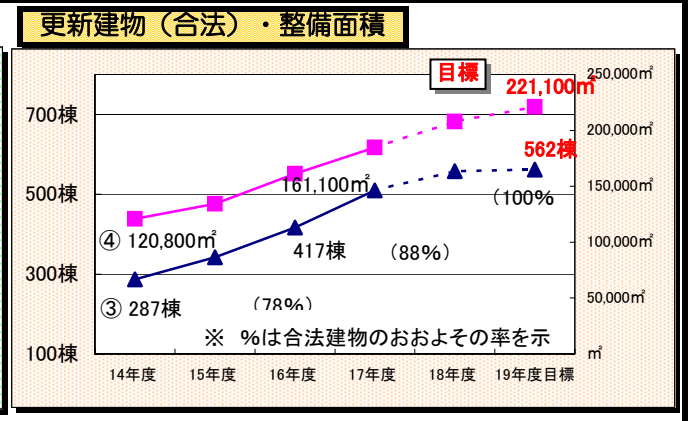
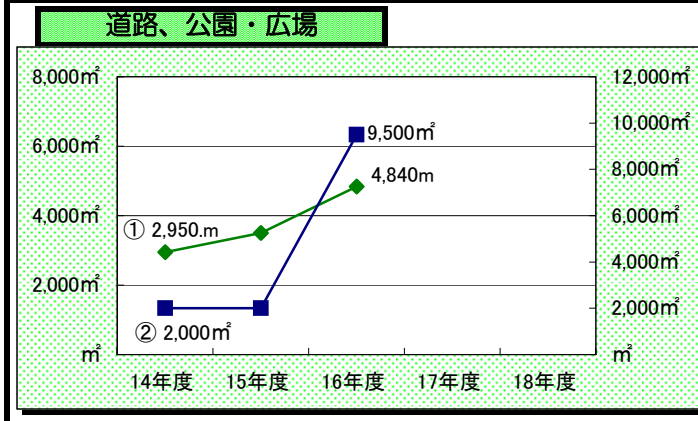
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
①	2,950㎡	3,500㎡	4,840㎡	㎡	㎡
②	2,000㎡	2,000㎡	9,500㎡	㎡	㎡

成果指標

	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	更新建物棟数 (棟)	安全安心のまちづくり、居住環境の向上、住宅事情の改善、下水道普及率0%⇒100%、合法建物の率約52%⇒100%
④	整備面積 (㎡) [公共施設を含む]	防災性の向上、都市空間の創出

成果実績・目標

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	287棟	342棟	417棟	510棟	558棟	562棟	事業計画及び、整備計画に基づく。
④	120,800㎡	134,300㎡	161,100㎡	184,600㎡	207,800㎡	221,100㎡	



事業名 一之江駅西部土地区画整理事業

実施の根拠となる法令等 土地区画整理法

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

委託等の内容（建築物等の調査、補償額の算定）

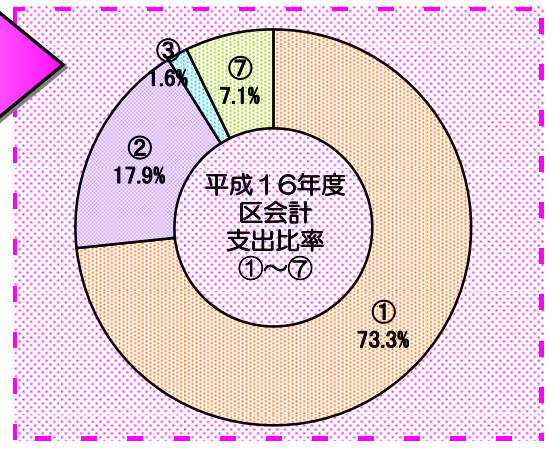
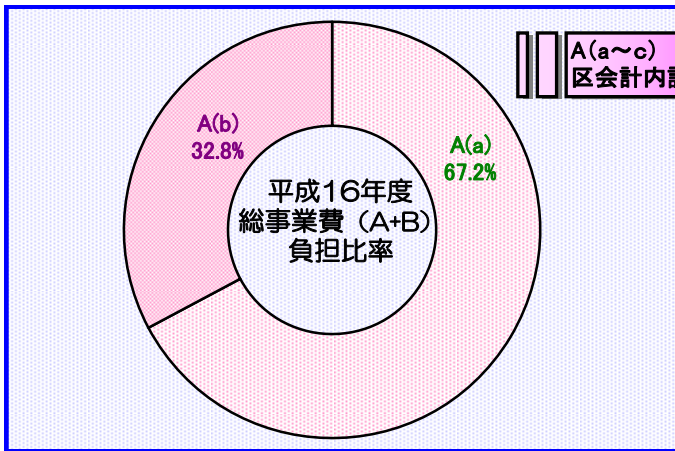
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	密集住宅市街地整備促進事業	6権利者による共同建替えて住環境の向上を図っています。
②		
③		

その他背景・他の自治体の状況等

区画整理すべき区域として、昭和40年と44年に向け、市街化区域の約半分に当たる2,048haを都市計画決定しました。今日までに約1,000haが完成し、現在も区施行により約60ha、組合・東京都施行で約215haの事業が進められています。

16年度総事業費 (A+B) 3,034,323千円



A 区の会計内訳 (a~c) 3,034,323千円

A(a) 国都支出金 (歳入)	2,038,255千円	都市再生区画整理事業、土地区画整理事業に対する補助
A(b) 区負担分	996,068千円	区一般会計
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円	

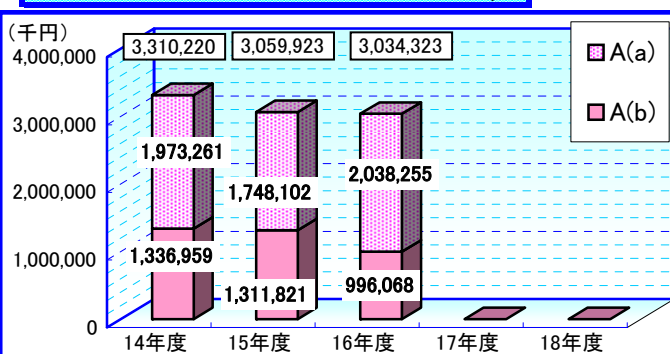
支出内訳 (①~⑦)

① 移転補償事業	2,224,700千円	移転棟数562棟
② 造成工事業	542,643千円	整備面積、221,100㎡
③ 調査設計事業	48,477千円	移転建物調査等委託、測量委託
④ 事務事業	1,782千円	消耗品、仮住宅、事務所維持管理費
⑤		
⑥		
⑦ 区職員の人件費	216,721千円	一般職の給与費等

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

千円

総事業費の経年変化 (14年度~)



16年度の国・都支出金aと区負担分bは約6.5 : 3.5です

ア 常勤職員	26.0人
イ 非常勤職員	1.0人
ウ 臨時職員	0.0人

16年度の
整備面積1㎡あたりの経費 **113,221円**
上記の内1㎡あたり区負担分 **37,166円**

経費の説明

16年度事業経費の7割以上が移転補償の関連経費となっています。

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	34	事業名	一之江駅西部土地区画整理事業
-------------	----	------------	----------------

所属名	土木部 区画整理第二課 推進係
------------	-----------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
【必要性・代替性】								
1	区が実施すべき事業である。		○					
2	目的を達成するために他の手段がある。					○		
【実績】								
3	目的を果たすために有効な事業である。		○					
4	事業の成果を上げている。			○				
【公平性】								
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○					
6	受益者負担を検討する必要がある。				○			
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価								
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。			○				
8	民間委託の可能性はある。					○		
【効率性】								
9	工夫や改善が必要である。					○		
10	経費を削減できる可能性がある。						○	

所 管 部 長 の 意 見

計画的な、公園整備や建物の更新を図っている。本事業は、地区を一体的に整備でき、防災や環境向上等総合的なまちづくり効果が得られているので、本事業は継続されている。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	34	事業名	一之江駅西部土地区画整理事業
-------------	----	------------	----------------

所属名	土木部 区画整理第二課 推進係
------------	-----------------

外部評価委員会評価

そう思う ← → そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。		○				
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。			○			
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。				○		
8	民間委託の可能性はある。				○		
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

外部評価委員会の意見

特になし